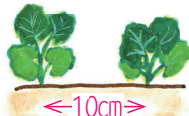


青い森の便り

～菜園のすすめ 最終回～



間引き
10cm間隔になるように
何回かに分けて間引く



タネまき
発芽適温
20～25℃



溝を作って
2～3cm間隔に
タネをまく
ゴボウは好光性種子
なので覆土は薄く

植える場所を
深く耕す



タネはまだら
模様でカサガ
サしています



(有)渋谷種苗店 (青森市)
しぶたに ふみこ
澁谷 扶美子
(文とイラスト)

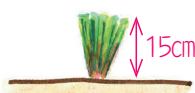
青森市に生まれる。青森県営農
大学卒業後30年間種苗業にた
ずさわる。現在は専務として従
事。平成13年よりラジオ番組「畑
でグッツェ」に社長である夫
と共に出演中。近著に「レッツ
トライ あおりの家庭菜園」
(平成25年、東奥日報社)がある。

**ゴボウ
の巻**

葉が枯れ始めたら
収穫の準備



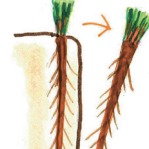
茎を15cmほど
残して刈る



根の横を
深く掘る



収穫



横に
ずらして
引き抜く

袋栽培



袋に水抜き
穴を開ける ↑



袋を切って
収穫

私の住む青森県は三方を海に囲まれ、八甲田山や岩木山を代表とする山岳、岩木川や奥入瀬川などの河川、十和田湖や小川原湖の湖沼がたくさん存在し、その自然が生み出す温泉地や観光の名所が多く、春は桜、夏は海、秋は紅葉、冬は雪と四季折々の楽しみがあり、私はこの青森県が大好きです。

さて、有限会社渋谷種苗店は昭和元年、青森市に創業しました。私がこの仕事に従事して40年近くになりますが、農業は奥が深くまだまだ分からないことばかりです。スタッフ一同、日々学びながら、移り行く情勢の中で私たちができることは何か、常に話し合い、農業の明るい未来を目指しています。青森県の農業は寒さが厳しく、一年のうち、ほぼ半年は休耕期間になるため、より一層真剣な取り組みが求められています。また、野菜の重要性や家庭菜園の楽しさを伝えるのも私たちの役割で、野菜の効能や植物を育てることのできる効果を、さまざまな形で楽しく発信しています。

栽培期間が短い青森県ですが、生産量第1位を誇る農産物があります。全国1位のりんご、ニンニクはよく知られていますが、実はゴボウもたくさん栽培されています。

日本では縄文時代から野菜として定着したゴボウですが、他国ではほとんど利用されずサラダやきんぴらなど日常的に食用とするのは、近年まで日本のみでした。ゴボウには食物繊維に限らずカリウム、マグネシウムなどのミネラルやポリフェノールが多く含まれ、新陳代謝にも役立つほか、生活習慣病の予防効果も期待できます。地中に長く根を張るゴボウの栽培は、手間がかかり掘り取りも苦労しますが、大きな茎や葉の生長ぶりに驚かされます。

最近の家庭菜園では、簡単に収穫できる袋栽培も行われるようになり、ゴボウ栽培は以前に比べて身近なものになりました。ゴボウは丈夫で細く長いので、幸せが続くとされる縁起ものです。ぜひ、縁起を担いで菜園でとれたゴボウを味わってください。

じゅんさんねん こ
純三年子
たきの りやかりぞう
滝野川大長
120cm



りやかりぞう
柳川理想
75cm



サラダむすめ
35～45cm



24 品目、約 10 年の連載を終えて 澁谷扶美子専務インタビュー



↑昭和元年創業、青森市の地元で愛される澁谷種苗店。



↑家庭菜園ユーザーが食べ切れない青果物の販売先として直売所も店舗に併設。フードロスを減らすサステナビリティな取り組みでもある。



↑営業部長で長男の耕平さん(右)と扶美子専務。地元テレビで菜園コーナーも受け持つ耕平さん。ECサイトでの青果販売など新時代へのアプローチも開始。



編集部…この連載もスタートは平成26年ですから、ほぼ10年、ご執筆ありがとうございます。

澁谷扶美子(以下澁谷)…こちらこそありがとうございます。

うございます。毎回、次のテーマを考えるのが楽しくて、挿絵に描く青森の名所を調べるうちに自分でも知らなかった情報を発見できて、いつもワクワクしていました。こうした機会があれば、地元青森のよさを知らないままだったかもしれません。23回で紹介した青森市内の合がっほ浦公園は自宅から車で近くの海浜公園なのですが、孔雀くぐくなんかがいたりして、最近孫が気に入りで散歩によく出かれます。それまではほとんど行ったことがありませんでした。素敵な公園ですよ。このほかにも写真や資料を見て場所を決めたら改めて出向いてイメージを固めて描かせていただきました。

編集部…栽培手順や品種のイラストは大切なポイントや特徴がとても分かりやすくて。

澁谷…そこは本業でし、絵を描くことは好きだったのでカタログを見ながら水彩絵の具で描いていました。今でも人様にお見せするほどのものではないと、恥ずかしいのですが、栽培の説明は写真では分かりにくいですから、お役に立ったなら何よりです。

編集部…澁谷種苗店では来店される家庭菜園のお客さまへどういったアプローチを心掛けておられますか。

澁谷…初めてという方に、最初から「簡単に

すよ」とは言わないようにしています。植物の栽培は容易ではないという前提で、毎年知識を得て上達していく楽しみを知ってもらいたいですね。

編集部…平成13年から地元ラジオ局でも社長とお二人で野菜栽培をテーマに出演されているとお聞きしています。

澁谷…ラジオネームが「ムッシュとマダム」(笑)。栽培のことで、間違ったことは言えないので、都度勉強しましたし、番組を聴いてお店に来てくださるお客さまもいました。出演がきっかけで、東奥日報社さんから本の出版も持ちかけられました。7年ほど前から社員が交代で出演させていただいています。社員も出演が決まるとしっかり伝えるため勉強しますのので、お客さまとのコミュニケーションスキルが上がって頼もしくなりました。

青森は冬が長いので、その間に作付けプランを練られている方が多く、春到来を待ち望んで来店されるので熱量が半端ないですよ。

編集部…連載では24品目を紹介いただきましたが、ご自身がお好きで、おすすめの野菜はどれですか。

澁谷…なんといってもおナスですね！色つやがきれいで大好きです。特に「庄屋大長」はやわらかくてタネが入りづらいので料理しやすいですよ。半分に切らずに輪切りにして食べてください。「SL紫水」や「早生大丸」のように青果での扱いが少ないナスも栽培をおすすめします。

